

感染性胃腸炎が流行り始めています

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。

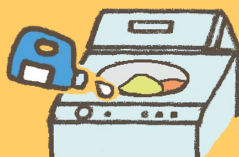


汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、ハイターを薄めた物で消毒します。



消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。



※ウイルス性腸炎の場合、感染力が強いため嘔吐物や下痢から集団発生につながります。集団発生を起こさないためにも症状が落ち着くまではお休みをお願いしています。「お腹の風邪」の診断でも、登園後に嘔吐や下痢が続くようであれば、お迎えをお願いすることがあります。

RSウイルス感染症に注意！！

10月の後半から11月にかけて、分園ではRSウイルス感染症にかかる子どもが増えていましたが、保護者の皆様のご協力により流行が終息してきています。ありがとうございました。

RSウイルス感染症にかかると、乳幼児は重症化しやすいので要注意です！保育園は集団生活の場ですのでRSウイルス感染症に罹患後は咳症状が治まるまで、なるべく登園を控えてもらっています。（集団感染につながる可能性があるため、みんなで用心をお願いします。）

受診時にRSウイルスの検査ができなかった場合でも、症状がそれに近いといわれた場合は、同様に用心をお願いします。（知念小児科 知念先生よりアドバイスをいただきました。）

